

## 【 部門目標・評価 】

### 目 標

#### 1 医療安全文化を醸成するために事例検討会や研修参加率を上げる

##### 1) 院内の医療安全管理委員会の参加促進

【目標1】 初期研修医師の参加 8回以上/年 (義務付ける)

【目標2】 毎回の参加人数 委員会メンバーの参加率 60%以上

委員会メンバー以外の参加人数 毎回10人以上(初期研修医含まず)

【目標3】 意識調査アンケート(東京海上日動にて集計)で周知度80%以上

##### 2) 全体研修受講率100%を達成する

【目 標】 講師を招いての研修会 1時間程度 2回開催(5月 10月)

DVD 研修 2回

SBAR→視聴後簡単な事例提出 (6月中)

医療安全→視聴后感想文提出 (11月中)

※以上4回の研修を全体研修と位置づけ、これらのうち2回以上を受講義務とすることで受講率100%を目指す。

##### 3) M&Mカンファレンスの参加促進

【目 標】 参加人数70人/回 初期研修医の参加率100%

#### 2 職員間のコミュニケーションを活性化するために“チームSTEPPS”を推進する

【目標1】 知識習得のためのセミナーに参加する。(参加目標人数 5人)

【目標2】 裾野を広げるため、看護協会のチーム STEPPS 研修に主任・中堅クラスの看護師に参加を看護部に依頼する。

【目標3】 6月に行う SBAR の DVD 視聴について、特に医師・看護師に於いては推奨する。新人看護師の視聴率100%

(事例提出は特に義務づけないが、提出した場合は研修受講とみなす)

#### 3 各部門における事例検討を主体的に促進する

【目 標】 RCA や ImSAFER などの分析手法による事例検討を各部門で最低1事例検討できるよう支援し、検討内容と結果を医療安全管理者に提出する。

### 評 価

- ・初期研修医は他院での研修のため不在のことも多くあり、参加率をあげることは出来なかった。
- ・委員会の参加人数は40人程度で推移した。委員会メンバー以外の参加者は7人前後の参加者があり、昨年度より増加した。委員以外の医師、コ・メディカルに参加者をさらに増やす工夫が求められる。
- ・意識調査アンケートにおける医療安全管理委員会の周知度は、「知っている」「聞いたことがある」を合わせ91%となり、目標を上回ることが出来た。
- ・第1回目の研修会は、参加者130人、ビデオ研修を含め81.1%であった。
- ・第2回目の研修会は、参加者115名、ビデオ研修を含め98.3%となった。医師以外の職員は100%となったが、医師が92%の参加率であった。医師の参加率を上げるための工夫が必要である。

- ・M&Mカンファレンスの開催は1回であったが、参加者は71名と目標を達成できた。初期研修医の参加率は75%と目標に届かなかった。次年度は複数回の開催が課題である。
- ・6月に行なった“SBAR”DVDの新人看護師の視聴率は100%であり、目標を達成した。
- ・病棟からインシデントレポート分析に参加して欲しいと連絡が来た場合に同席し、分析後のアドバイスも行なった。全ての部門で分析を行ない、結果を医療安全室に報告するシステムが出来ておらず、来年度の課題となった。

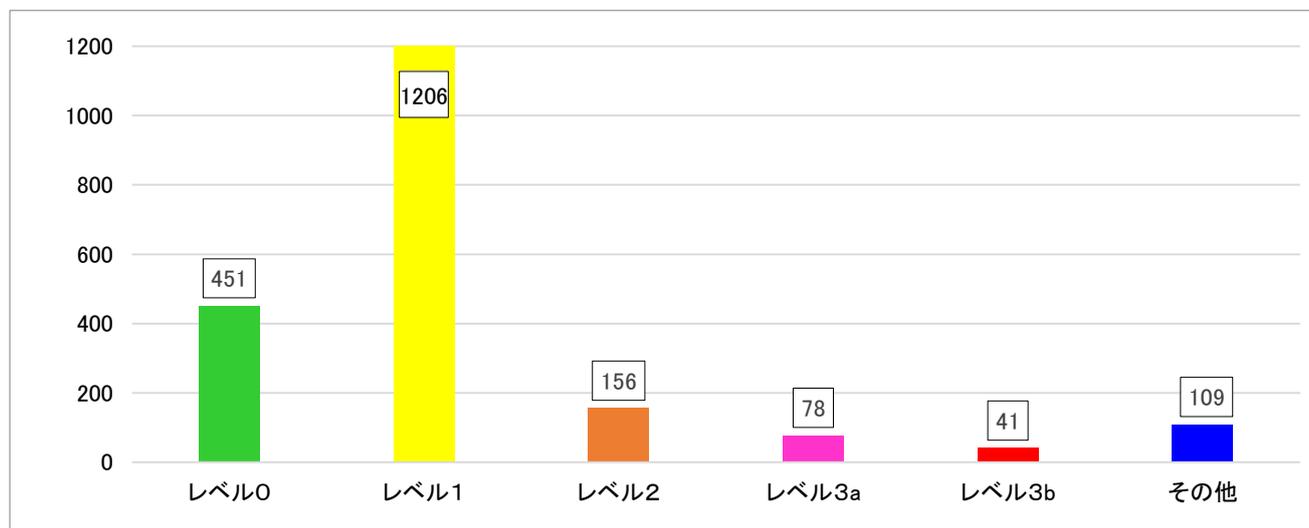
## 【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	医療安全・感染管理 マネジメントに関する 資格等	業 務
医療安全室長	須田 峰子	医療安全管理者 認定看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の医療安全管理体制の構築及び推進</li> <li>・医療安全室の専従職員の労務管理・人材育成</li> </ul>
医療安全担当 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の医療安全管理体制の構築・推進</li> <li>・医師を対象とした医療安全管理の啓蒙・指導</li> <li>・M&amp;Mカンファレンスの企画・運営</li> </ul>
感染管理担当 副院長	北 和彦		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策責任者として院内感染防止対策の推進及び活動全般の支援</li> </ul>
副医療安全室長 (専従)	窪田 眞弓	医療安全管理者 感染管理認定看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全対策の体制確保のための各部門との調整</li> <li>・医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施・評価</li> <li>・重大な事故発生時の院内の組織的な対応</li> <li>・訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整</li> </ul>
感染管理看護師 (専従)	佐々木 みゆき	感染管理認定看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染防止対策の推進</li> </ul>
医療対話推進者 (専従)	牧野 巧	医療対話推進者 医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内外の感染管理に関する研修の企画・運営</li> <li>・患者や家族からの苦情および相談・暴言暴力対応に関する研修の企画・運営</li> </ul>
医薬品安全管理 責任者	志村 章	医療安全管理者 医薬品安全管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品安全使用のための研修の企画・運営</li> <li>・医薬品安全使用のために必要となる情報の収集及び院内周知</li> </ul>
医療機器安全管理 責任者	坂本 亮太	臨床工学士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器安全使用のための研修の企画・運営</li> <li>・医療機器の保守点検の適切な実施についての監査及び指導・情報収集及び周知</li> </ul>
保安対策員(嘱託)	中村 進	警察OB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴言暴力対応</li> </ul>
医療安全担当事務	草田 良平		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全に関する会議・研修会の庶務</li> </ul>

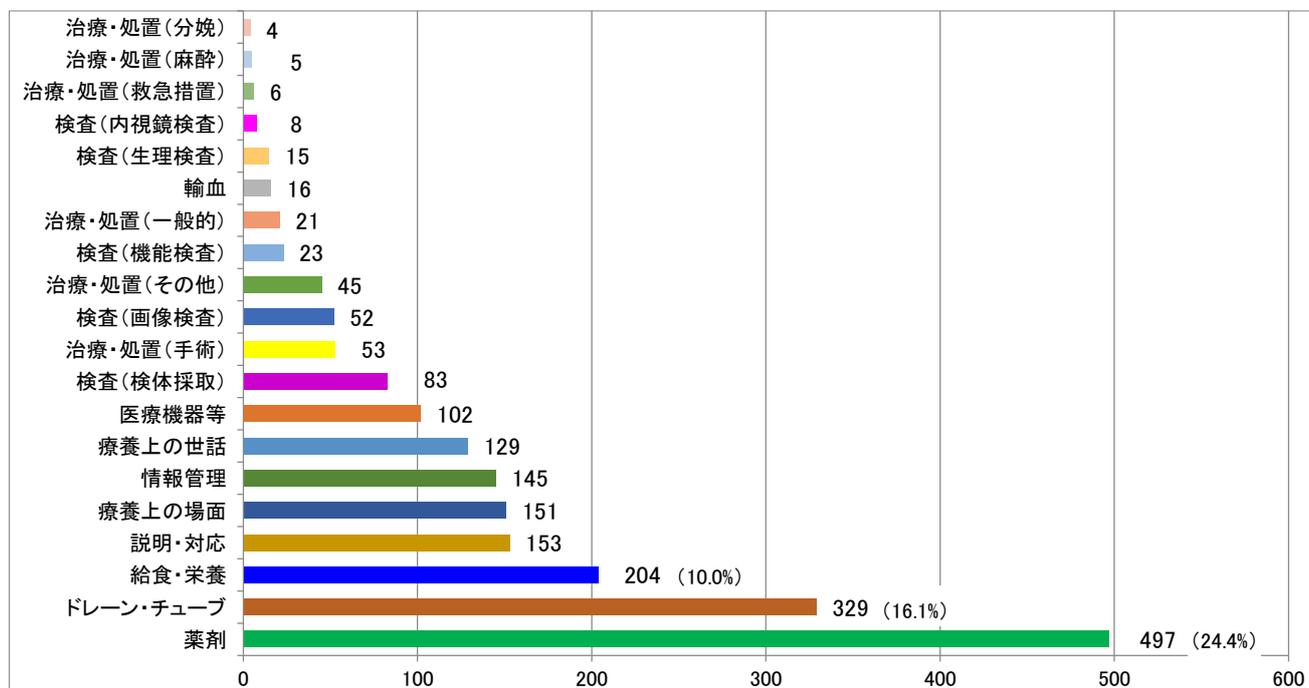
## 【業務実績】

### 〈医療安全〉

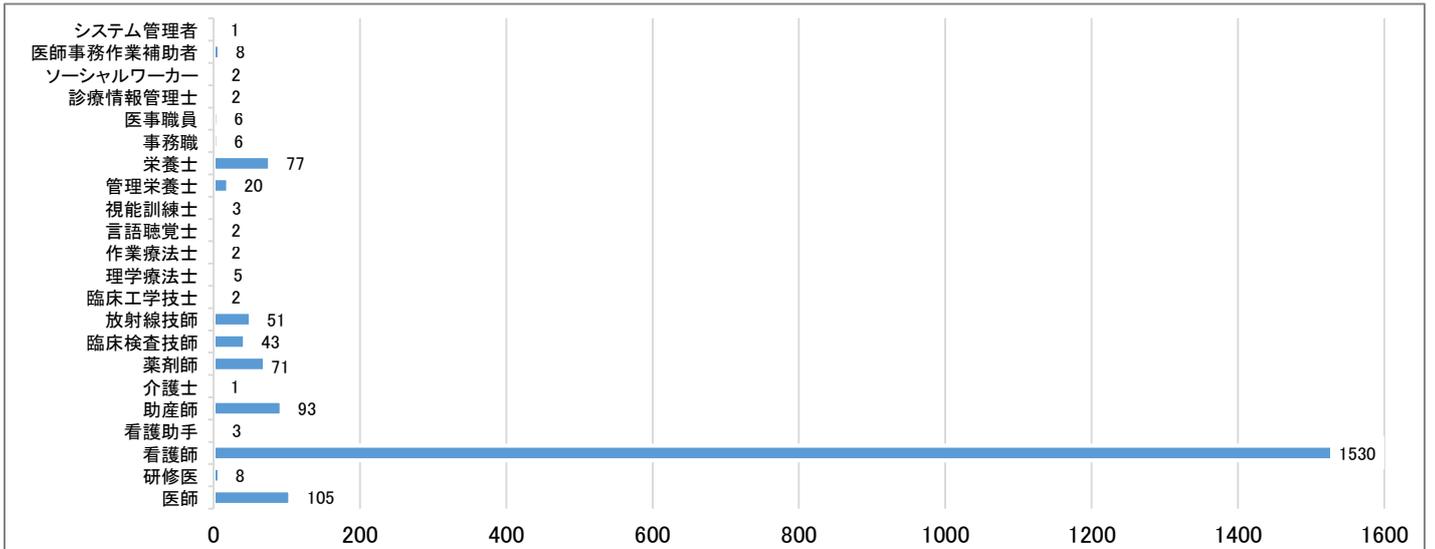
1. 報告総数：2041 件	インシデント（レベル3a以下）	1891 件
	アクシデント（レベル3b以上）	41 件
	その他（暴言・暴力、苦情、レベル不明など）	109 件



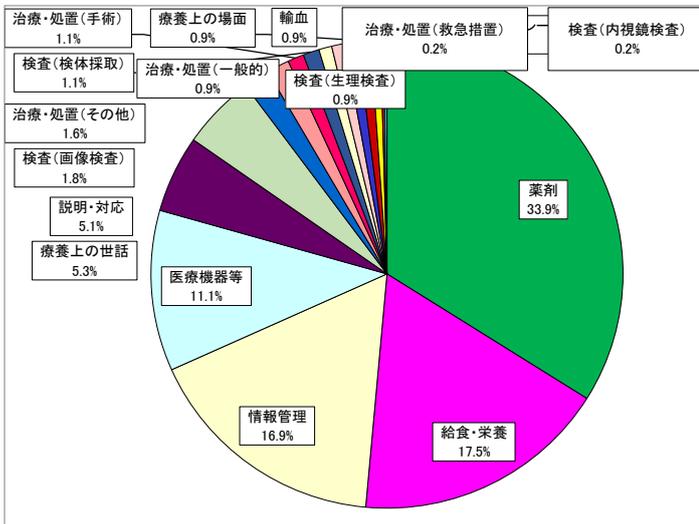
### 2. 報告内容別件数



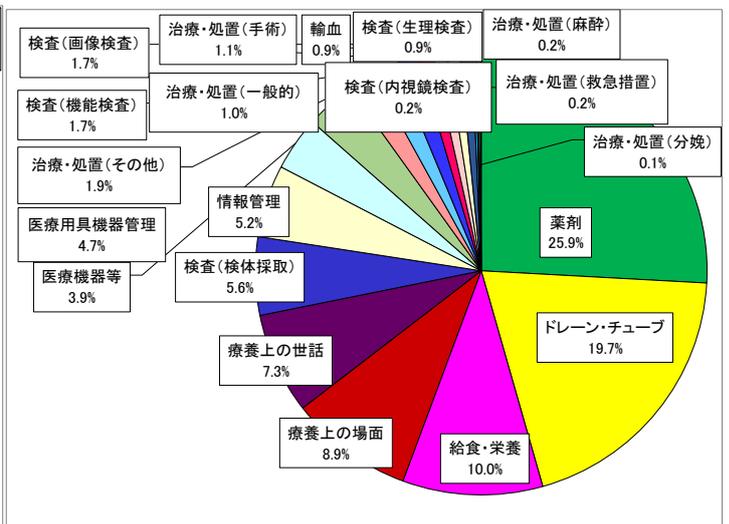
### 3. 報告者別件数



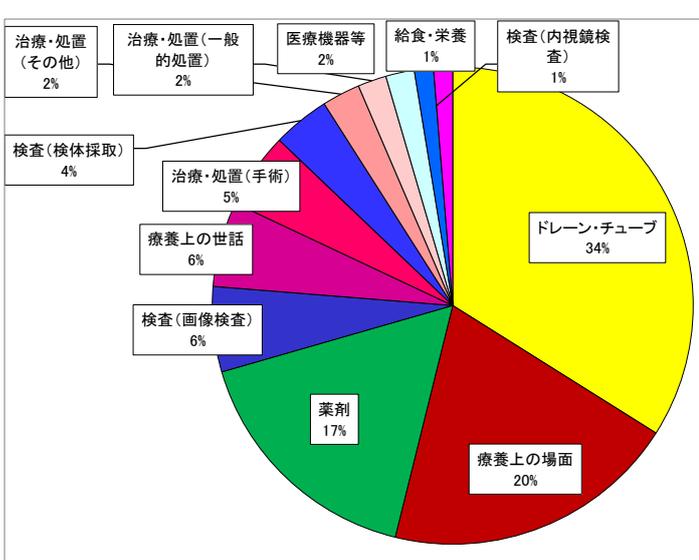
### 4. 「レベル0」報告内容



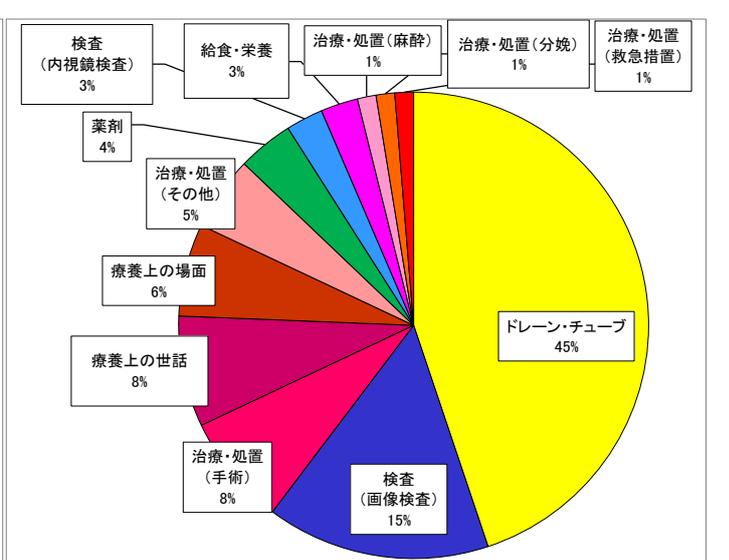
### 5. 「レベル1」報告内容



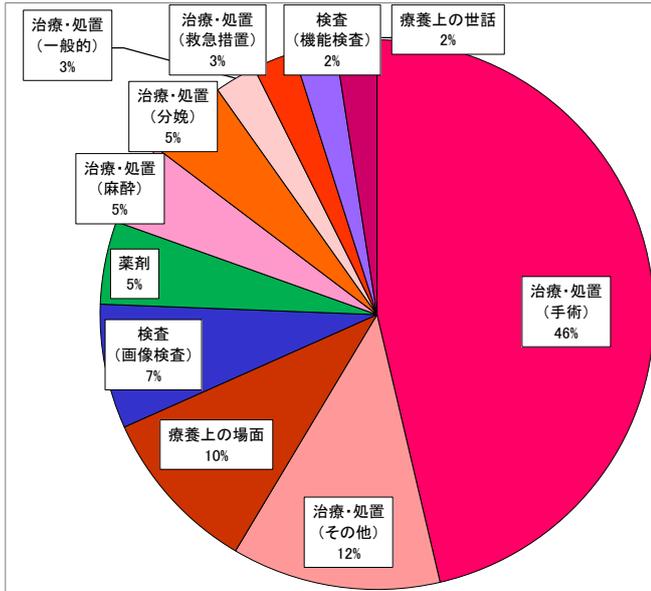
### 6. 「レベル2」報告内容



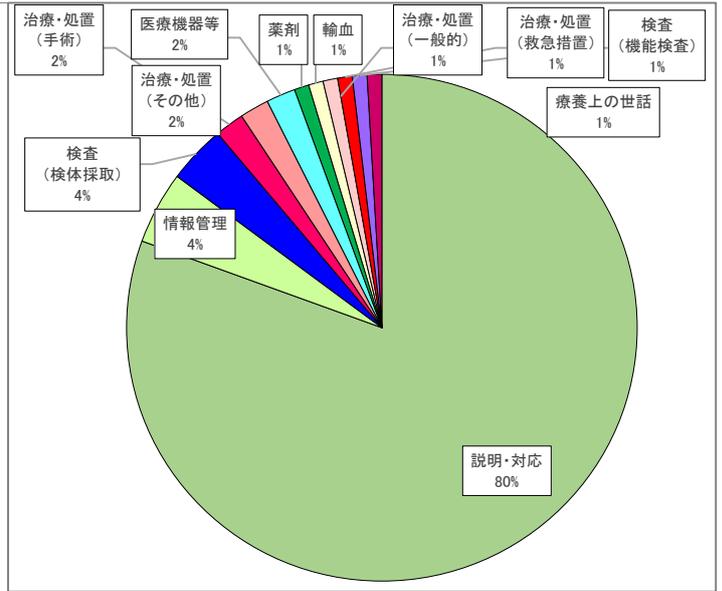
### 7. 「レベル3a」報告内容



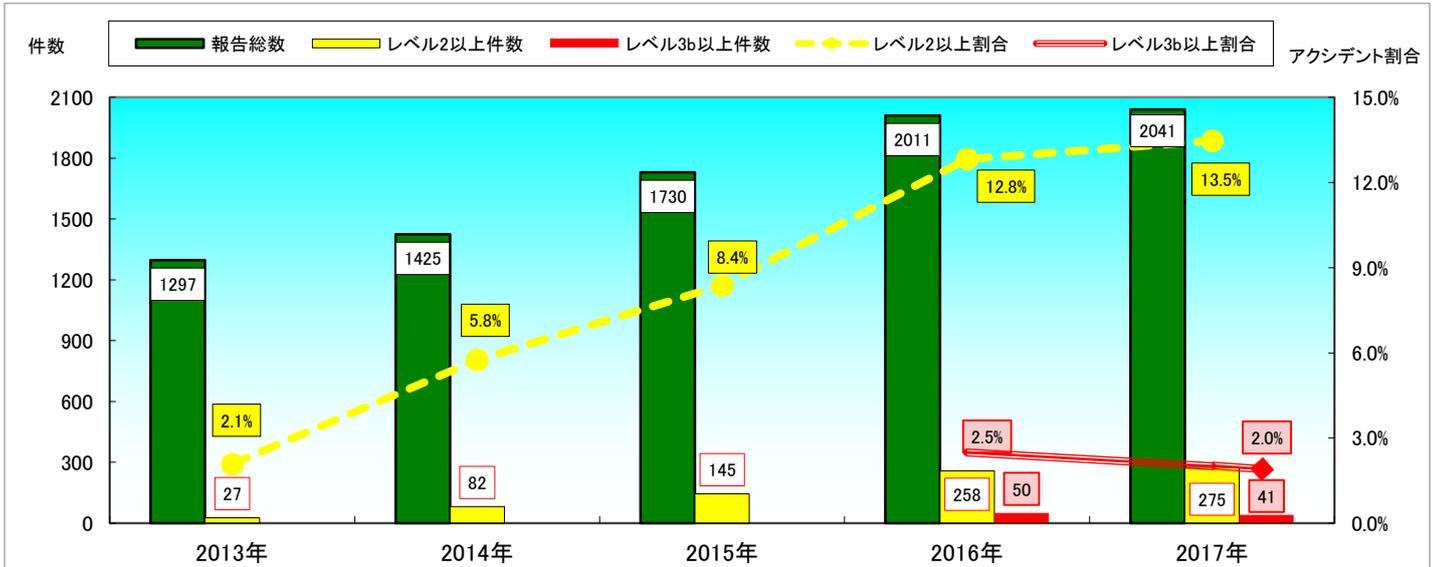
8. 「レベル3b」報告内容



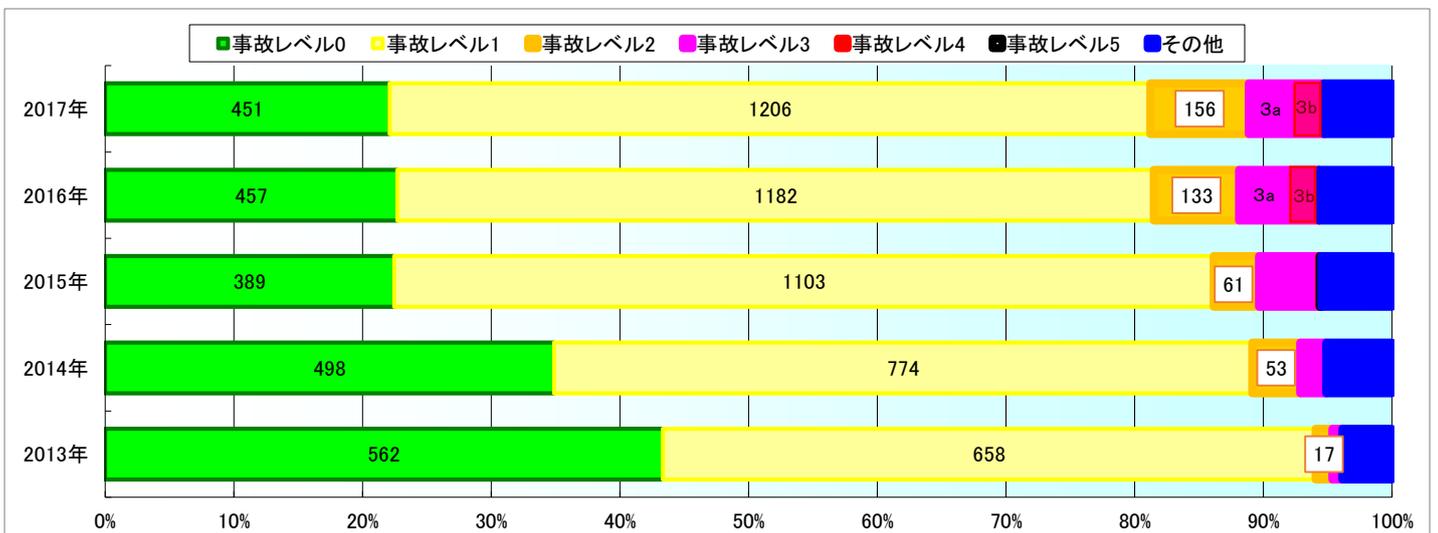
9. 「その他」報告内容



10. 報告件数年度推移別



11. レベル別報告割合 (H28年度からレベル3を3aと3bに分けて集計している)



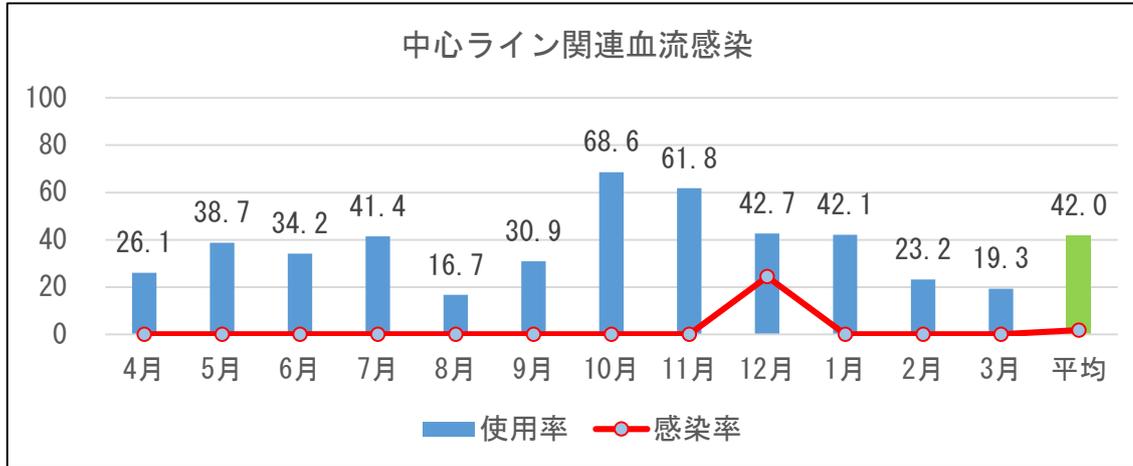
## 〈感染対策〉

### 1. サーベイランス

#### 1) 中心ライン関連血流感染サーベイランス (ICU・CCU)

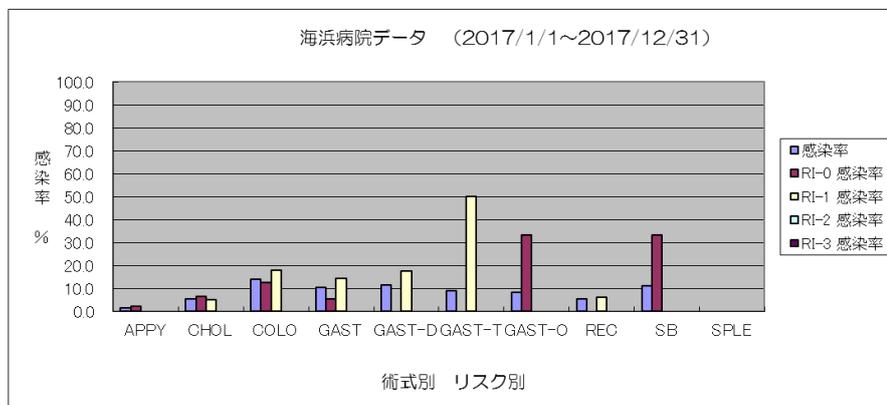
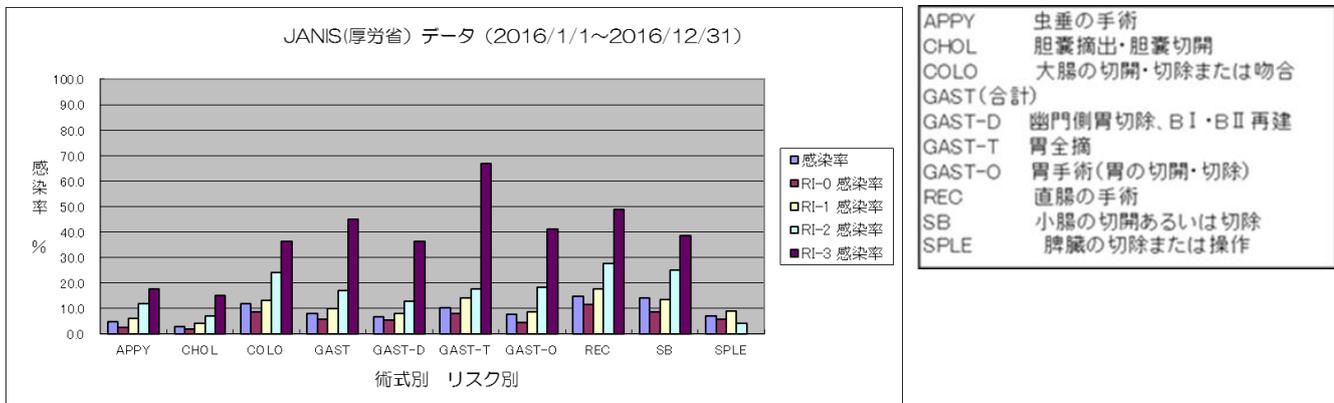
JHAIS 2009年4月～2017年12月データ

使用率：41% 感染率：1.7‰



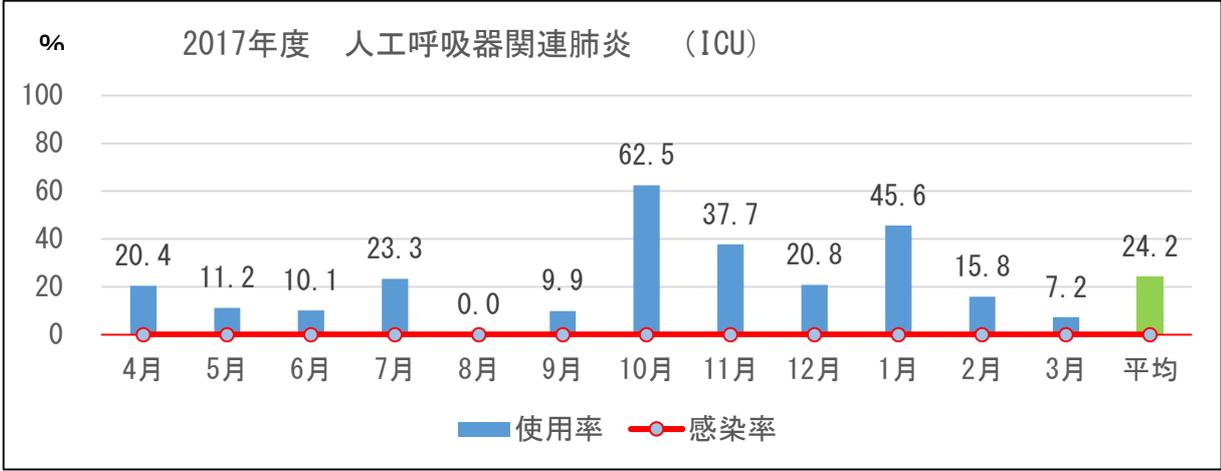
#### 2) 手術部位感染サーベイランス

手術部位感染率 (使用指標：JANIS 厚労省サーベイランスデータ事業)



3) 人工呼吸器関連肺炎（ICU）

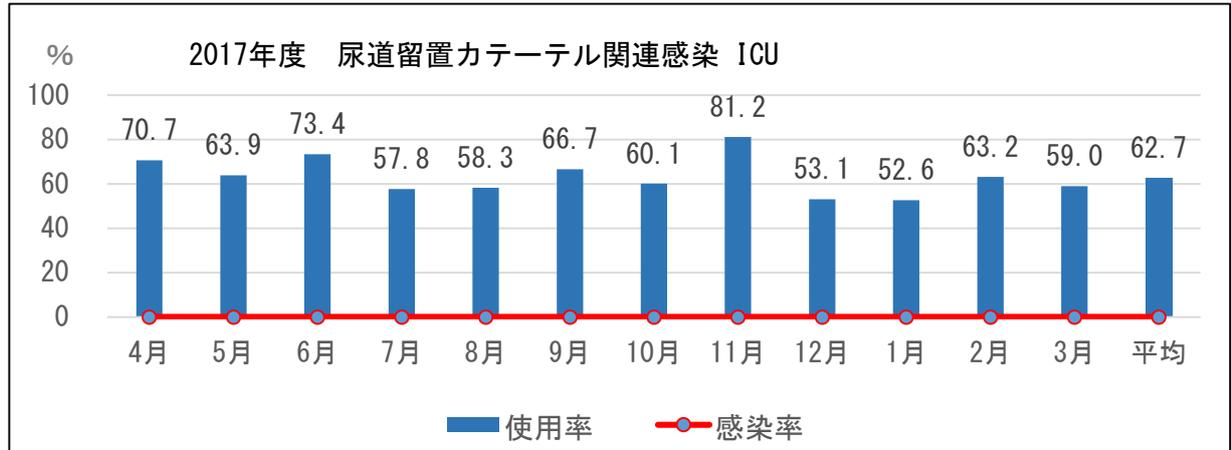
JHAIS 2009年4月～2017年12月データ  
 使用率：35% 感染率：3.3‰



4) 尿道留置カテーテル関連尿路感染

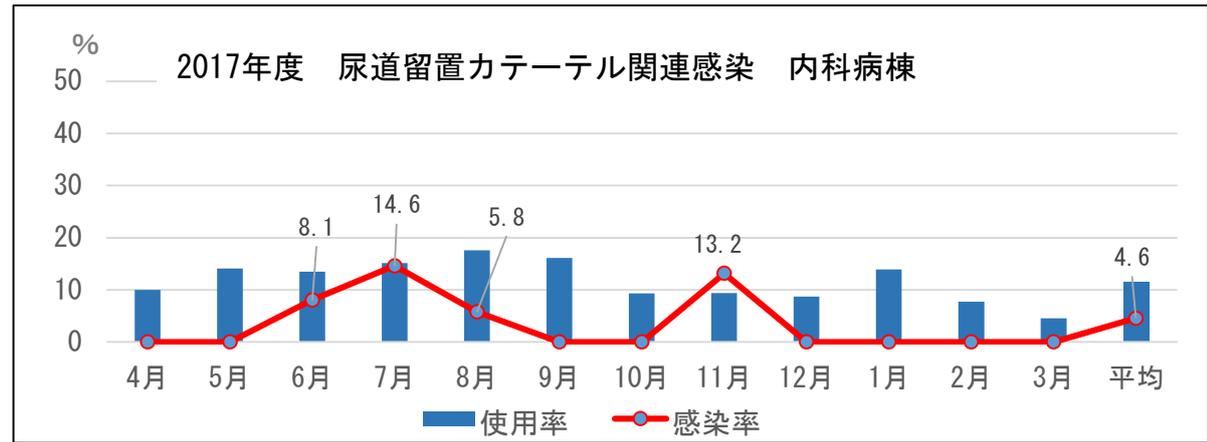
① ICU

JHAIS 2009年4月～2017年12月データ  
 使用率：77% 感染率：1.4‰

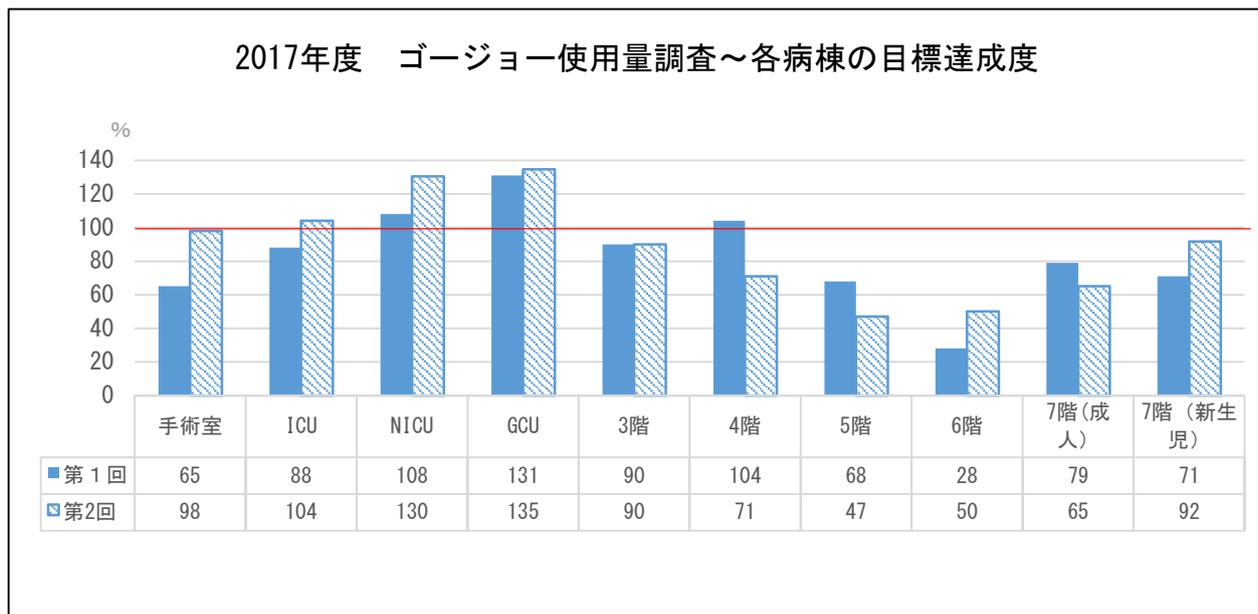


②内科病棟

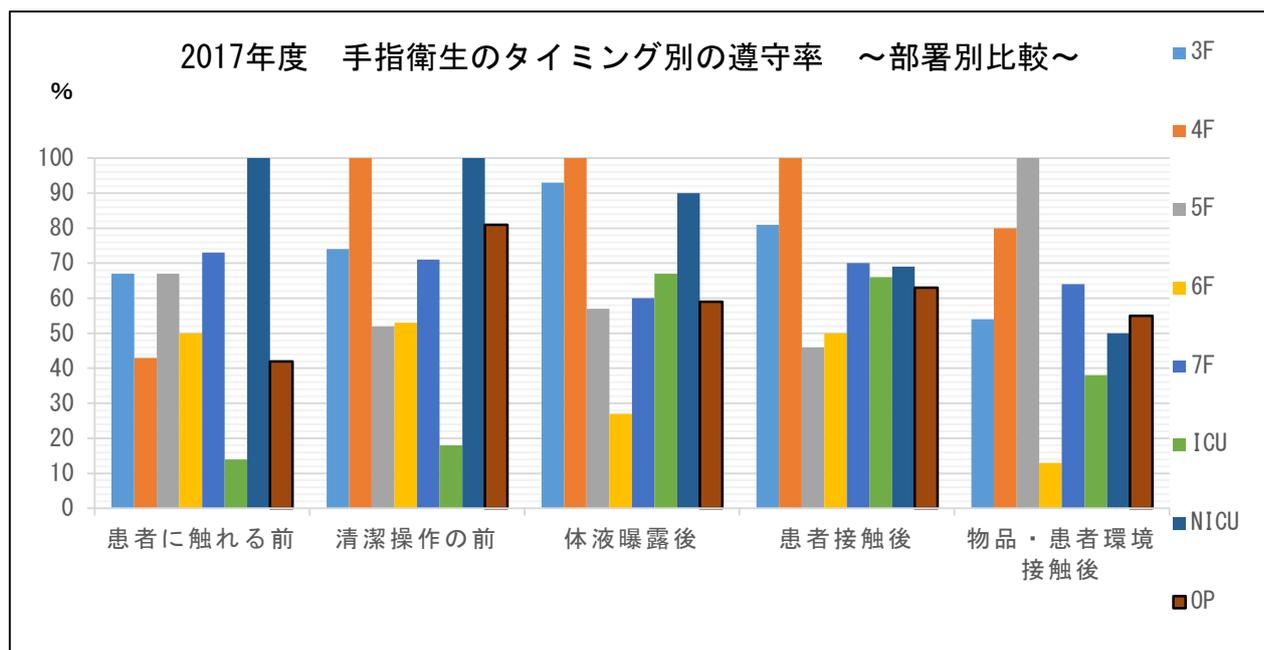
JHAIS 2009年4月～2017年12月データ  
 使用率：15% 感染率 1.6‰



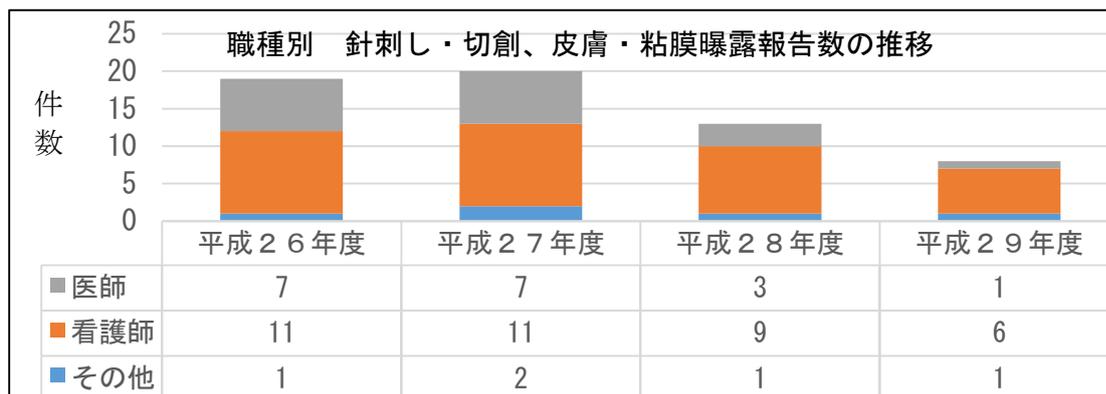
5) 手指衛生剤使用量調査



6) 手指衛生使用状況調査



7) 針刺し切創・皮膚・粘膜曝露



【平成29年度 医療安全研修 感染管理研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
<b>医療安全研修</b>					
必須研修	第1回 医療安全研修会	医療現場における個人情報の取扱い	5月	全体	385人 (81%)
	未受講者フォローアップ	SBER のビデオ視聴 レポート提出	7月		
	第2回 医療安全研修会	安全を守るための職員間のコミュニケーション	10月	全体	446人 (95%)
	未受講者フォローアップ	研修会のビデオ視聴 レポート提出	11月		
医療安全 教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用者	28人
	医療安全ステップ1(夜勤開始前)	夜勤において特に注意すること(先輩体験談)	6月	新人看護師	20人
	危険予知トレーニング	KYT の実際	6月	看護師	20人
	ヒューマンエラー	ヒューマンエラーとヒューマンファクター	11月	看護師	34人
	患者確認	誤認防止の具体的方法	2月	受付事務	15人
医療機器	輸液ポンプ・シリンジポンプ	使用方法・取扱の説明	4月	新採用者	28人
	AED	新規購入 AED の使用方法	10月	全体	60人
薬剤	第1回 医薬品の安全使用講習会	医薬品全般・新規採用薬の注意	6月	全体	29人
	第2回 医薬品の安全使用講習会	医薬品全般・新規採用薬の注意	2月	全体	30人
その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	76人
<b>感染管理研修</b>					
必須研修	第1回 感染管理全体研修会	手指衛生 届出制の薬剤耐性菌 抗菌薬の副作用と相互作用	6月 7月	全体	499人 (70%)
	第2回 感染管理全体研修会	細菌検査の注意点について TDM(血中薬物濃度)について 感染性胃腸炎	12月	全体	599人 (88%)
感染管理 教育	新採用者オリエンテーション	標準予防策 血液・体液暴露予防 個人防護具の装着方法	4月	新採用者	47人
	食中毒の予防	手指衛生のポイント	8月	栄養士	11人

【平成29年度 資格取得研修受講】

受講研修	職種	取得人数
医療安全管理者	看護師	5名
	医師	1名
	栄養士	1名
	放射線技師	1名
医療対話推進者	看護師	6名

## 【1年間の総括】

平成 29 年度の医療安全への取り組みは、職種間の連携を深め、コミュニケーションエラーを防ぐことに力を注ぎました。職員全員が SBAR を実践しようとして意識するだけでも職場風土はかなり良くなると考え、第 1 回の医療安全研修会のフォローアップ研修や新採用者の研修に取り入れました。TeamSTEPPS は、病院の幹部職員から裾野を広げるべく外部研修の参加促進を図ったものの、院内の全職員に浸透するには時間がかかります。次年度以降も地道な実践や啓蒙活動をしていきたいと考えています。

インシデント報告では、レベル 3 b の報告数が昨年度より 4 件減り、レベル 4 a 以上の発生はありませんでした。生死にかかわる重大な事象が発生しなかったことは、職員の医療安全に対する意識向上の結果だと評価しております。また、職員の針刺しに関しては、平成 27 年度に 20 件/年あったことを重く受けとめ、感染管理認定看護師が予防策を徹底するために各部署・部門を個別に指導していきました。その結果、平成 28 年度は 13 件/年となり、今年度は 8 件/年まで減らすことができました。

感染対策に関しては、「医療機関における院内感染対策について」（平成 26 年 12 月 19 日医政地発 1219 第 1 号医政局地域医療支援計画課長通知）が発出され、これに基づき医療関連感染の防止に努めています。平成 29 年度は、入院中にインフルエンザが発症した事例を受けて、インフルエンザ流行期における同室患者の感染管理についてマニュアルを改正し、患者間の感染拡大の防止に努めました。

昨今は、感染症法による感染症の分類の複雑化、新興感染症や再興感染症の発生及び他剤耐性菌の増加に伴い、指針、マニュアルの改定、職員・患者への周知・教育や現場への介入など院内感染対策部門は多くのことが求められるようになりました。海浜病院は、地域支援病院として感染管理においても地域の病院との連携や小規模病院への指導等の責務があります。

今後、これらの重要な役割を担うためには、感染対策部門を医療安全室の中に置くのではなく、院長の直下に感染対策室を設置し、院内外の活動を容易にする必要があると考えました。平成 29 年度に組織改正の準備に着手し、平成 30 年度 4 月に感染対策室ができることになりました。ICT や AST 活動とともに、感染対策室の活動が医療関連感染の防止をより強固なものにできるよう医療安全室としても協力していきます。